

新型コロナウイルス感染症対策

引き続き油断しないで、緊張感をもって



県民のみなさまへ

●新型コロナウイルス対策の協力への感謝

はじめに、新型コロナウイルス感染症に立ち向かう最前線において、県民の尊い命を守るため力を尽くされている医療従事者の皆様、福祉関係者の皆様、本当にありがとうございます。県民の皆様には、4月22日から5月6日まで、佐賀県の緊急事態措置による外出自粛や店舗の休業・時間短縮等ご協力をいただきました。さらに、一部の事業者の方々には、ゴールデンウィーク後も休業を継続していただきました。県民の方々が一丸となって頑張ってくださいましたことを心から感謝いたします。

●先手先手で取り組んできた佐賀県

4月16日に国の緊急事態宣言が47都道府県に拡大されたことを受け、県では、4月20日、13の特定警戒都道府県には入っていませんでしたが、佐賀県独自の緊急事態措置を発表しました。これは、だりだらりではなく、ゴールデンウィーク期間中に集中的に人との接触を減らすことで、一定の目処をつけようと考えたからです。

●県内の感染者数推移

3月13日に県内初の感染が確認されてからこれまで、県では各保健福祉事務所による聞き取り調査等により感染源を特定し、また、関係者に幅広くPCR検査をしながら、一件一件の封じ込めによる感染拡大防止を図ってきました。



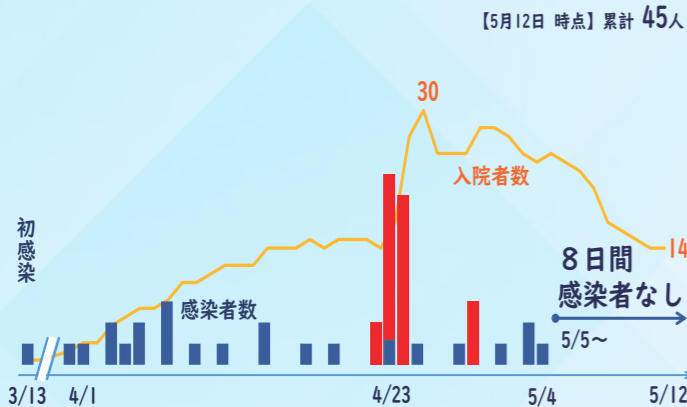
▲衛生薬業センター

患者発生状況
PCR検査実施件数
1,265件
感染者数
45名
(うち県外者2名)
(5月12日時点)



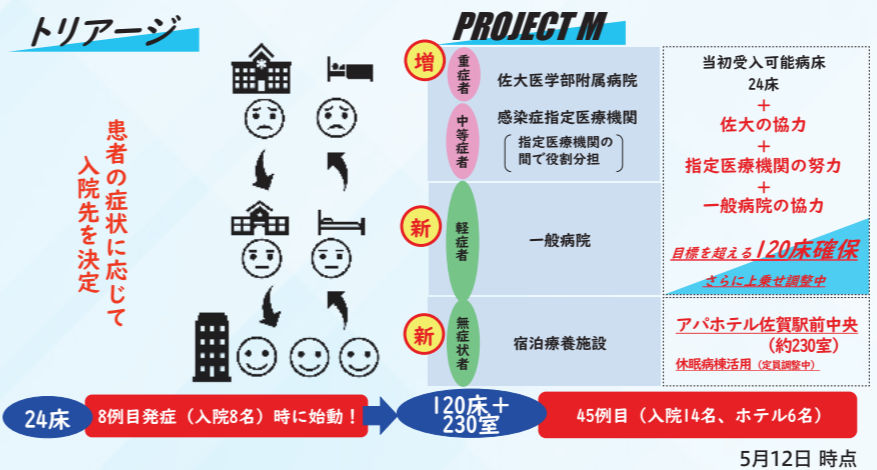
▲一件一件の封じ込めに全力

佐賀県新型コロナウイルス感染者数推移



これに先だつて、4月6日に「プロジェクトM」を開始し、将来、感染者が増えることがあつても医療崩壊を招かぬよう、感染者の症状によつて対応する医療機関を振り分ける仕組み（トリアージ）をつくり、病床数の拡充や必要な

感染拡大に先回りしたプロジェクトM(医療提供体制強化)実施中



この中で、感染のほとんどが県外から持ち込まれたことや、接客を伴う夜の飲食店での感染は、クラスター化しやすく、封じ込めが困難になることも明らかになりました。このため、「夜の街警戒宣言」として、夜間、県や市町の職員が、県内の繁華街を巡回し、夜の外出自粛を呼びかけました。また、県境を越える移動の自粛を広く呼び掛けるため、県民の方々だけではなく、隣の福岡県の方々に對してもTVや新聞を通じて呼び掛けを行いました。

県外や夜の街へのご協力のお願ひにも取り組みました



●「TEAM SAGA/ALL SAGA」でともに乗り越えていきましょう

佐賀県は、現状をしっかりと分析し、再開について5月7日以降段階を追って丁寧に取り組んでいます。

資機材の確保など医療体制の強化を進めてきました。その結果、県内における感染者の受け入れ病床数は、当初、24床でしたが、プロジェクト始動後、県内の医療機関や民間のホテルのご協力をいただき、5月12日時点で、重症者・中等症者・軽症者用の病床120床に加え、無症状者用ホテルに230室を確保しています。

※プロジェクトMとは

新型コロナウイルス感染症に对应する県内の医療提供体制を強化することを目的に、感染症指定医療機関などに所属する医師と県職員で構成される組織(佐賀県新型コロナウイルス感染症対応医療体制強化本部)が行う取り組み



▲ 運転席等と後部座席がプレートで区切られた感染症患者搬送専用車



▲ 県職員や医療従事者に対し防護服の脱着訓練を実施

プロジェクトMは、現場の医師が全体のマネジメントや調整に能力を割かずとも、医療機関同士の連携を図ることができるとを示すモデルで、医師はそれぞれの病院内の感染防護策を強化するなどの対策に集中できます。新型コロナウイルス感染症の流行は禍ですが、これが転じて、医療と行政の垣根が取り払われるような良い機会にもなることを期待しています。



佐賀県新型コロナウイルス感染症対応医療体制強化本部 本部長
(佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター長)
阪本 雄一郎 氏

具体的には、5月7日から21日にかけて休業要請を段階的に解除し、5月11日から県有施設の再開、5月14日からは学校を再開しています。子どもたちは、日々、人との交流の中から学び、成長していきます。学校という場で先生や仲間と過ごすことで得られる貴重な経験は、なにもにも代え難いものです。一方で、コロナウイルス感染のリスクは、学校においても依然としてゼロではありません。このため、感染防止策の徹底や、体調が悪い時には休みやすい環境づくりを行うとともに、万一、新たな感染が確認された場合には、感染を拡大させない速やかな対応をとることで、子どもたちの学校生活という人生の貴重な時間を守ってまいります。

最後に、県民の皆様にお願ひがあります。佐賀県は慈しみ合いの県です。新型コロナウイルスには、誰もが感染する可能性があります。感染が疑われる方が手を挙げることを躊躇してしまふような、個人情報等を詮索するなどの心無い行動や、差別や偏見を生むような悲しい行動は絶対に避けていただくようお願いいたします。

佐賀県は、この難局を乗り越えるため、今後とも引き続き緊張感をもって、県民の皆様の声をお聴きしながら懸命に取り組んでまいります。今後とも県全体で支え合い、慈しみ合い、一丸となって「TEAM SAGA/ALL SAGA」で、ともに乗り越えていきましょう。

佐賀県知事 山口祥義